

## 日本語教え隊訪問記

2015.3.29  
(大島 記)

先週月曜日23日に、川瀬さんと「日本語教え隊」の全体会に行ってきました。  
国際3期の山本忠明さんが主宰しているボランティアです。

海外から親御さんと一緒に来日している外国人子供たちに日本語を教える活動をされています。今回は山本さんから「全体会があるので、来ませんか」とお誘いを受け、お邪魔しました。

ギッシュ先生や、森本室長、区教育委員会、区役所の方もお見えになっていました。もともと、山本さんから活動内容を聞いていたのですが、あらためてその規模と活動内容に感じ入りました。

外国から来た子供たちは80時間の日本語教育を受けるのですが、その業務を区から請け負っているわけです。  
でもこれだけの人数(去年は57名)になると、ボランティア活動の域を越えています。ご苦労が絶えないことだと思います。  
(一方、区の教育委員会や役所はどうなんですかね。ひょっとして「教え隊」におんぶにだっこ状態ではないかと思わされました。)  
本来は、行政がやるべきことでしょう、と思わざるを得ません。  
でも、現実には子供たちは滞日しているわけですから、できる人がやらなければならないんですね。

中国からきたバイリンガルの方々が、とても熱心に活動されていることが印象的でした。もちろん日本のバイリンガルの方々も頑張ってます。

80時間後のサポートも手がけられているご様子。  
そのあたりは、僕らでもお手伝いできるかもしれないと思いました。

